



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日  
東

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所  
 コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 亙  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 藤坂 祐宏 (TEL) 06-6531-8211  
 管理部門統括  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,380	1.3	307	△44.8	427	△31.6	150	△60.6
2022年3月期第3四半期	13,203	3.7	557	13.8	624	27.7	381	52.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 841百万円(30.9%) 2022年3月期第3四半期 643百万円(242.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	21.52	—
2022年3月期第3四半期	54.66	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,596	11,914	47.6
2022年3月期	22,036	11,322	50.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,701百万円 2022年3月期 11,124百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	20.50	—		
2023年3月期(予想)				20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	6.6	790	3.9	1,000	10.7	570	5.4	81.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	7,210,000株	2022年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	231,502株	2022年3月期	233,849株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	6,977,611株	2022年3月期3Q	6,976,151株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、引き続きコロナ禍からの経済活動正常化の動きが進む一方、ウクライナ情勢の長期化や資源価格の高騰、及びこれらを背景とした先進各国におけるインフレの加速など、先行き不透明な状況となっております。

わが国経済も、ウイズコロナ政策のもと経済活動の正常化は進んでいるものの、資源価格の高騰や円安等に伴う物価上昇などの景気下押し圧力により、依然として先行き不透明な状況が続いております。これに伴い、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ると、製造業の機械受注額は、2022年1月～3月は13,112億円（前年同期比24.2%増）、4月～6月は14,300億円（同21.2%増）、7月～9月は14,014億円（同10.6%増）であったことに対し、10月は4,253億円、11月は3,859億円と減少傾向にあります。

このような環境下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、引き続き各セグメントが属する国の状況に応じて時差出勤や在宅勤務等を実施しながら、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期における受注高は前年同期比26億9千9百万円増（同16.8%増）の187億5千9百万円となり、受注残高は前年同期比57億4千1百万円増（同74.1%増）の134億8千9百万円となりました。一方、売上高につきましては、サプライチェーンの混乱に伴う部品の供給不足が長期化しているものの、電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の売上が堅調に推移したことに加え、在外子会社の邦貨換算の影響が円安によりプラスに働いたことなどにより、前年同期比1億7千7百万円増（同1.3%増）の133億8千万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減に努めたことなどにより売上総利益率は改善（28.4%→28.7%）したものの、販売費及び一般管理費が在外子会社の邦貨換算の影響を受けて増加したこと等により、営業利益は前年同期比2億4千9百万円減（同44.8%減）の3億7百万円となりました。また、経常利益については1億1千4百万円の為替差益を計上しましたが、前年同期比1億9千7百万円減（同31.6%減）の4億2千7百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券売却益1千4百万円を特別利益に、投資有価証券評価損1千1百万円、中国子会社における新型コロナウイルス感染症関連損失1億8百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税1億5千万円、法人税等調整額2千9百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億3千1百万円減（同60.6%減）の1億5千万円となりました。

日本におきましては、引き続き電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の受注が堅調に推移したこと等により売上高は前年同期比9億6千9百万円増（同12.2%増）の88億8千9百万円となりました。損益面では、資源価格の高騰などにより売上総利益率が悪化（27.3%→23.9%）したこと等により、販売費及び一般管理費の増加を吸収するまでには至らず、営業利益は前年同期比1億6千5百万円減（同30.1%減）の3億8千5百万円、セグメント利益（経常利益）は前年同期比2千2百万円減（同3.5%減）の6億3千6百万円となりました。

東アジアにおきましては、引き続き電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連並びにスマホ・VR用レンズ関連の受注は堅調に推移したものの、上海市のロックダウンに伴う2ヶ月強に亘る工場操業停止時の売上高減少をカバーするには至らず、売上高は前年同期比6億9千5百万円減（同14.8%減）の39億9千9百万円となりました。損益面においては、操業停止期間中の製造固定費を特別損失に振替したこと等により、売上総利益率は改善（24.4%→30.2%）したものの、販売費及び一般管理費の増加を吸収するには至らず、営業利益は前年同期比1千万円減（同21.8%減）の3千7百万円となりましたが、セグメント利益（経常利益）は為替差益の計上等により前年同期比1千8百万円増（同339.1%増）の2千3百万円となりました。

東南アジアにおきましては、国により景気回復のスピードにはばらつきはあるものの、設備投資は概ね回復基調にあり、売上高は前年同期比1億2千3百万円増（同9.8%増）の13億9千万円となりました。一方、損益面では、売上総利益率は改善（32.2%→35.6%）したものの、販売費及び一般管理費の増加を吸収するには至らず、営業損失は5百万円（前年同期は1千2百万円の営業利益）、セグメント損失（経常損失）は1百万円（前年同期は1千9百万円の経常利益）となりました。

北中米におきましては、中米では自動車関連を中心とした需要は回復しつつあるものの、設備投資の回復までには至らず、売上高は前年同期比5千1百万円減（同30.6%減）の1億1千6百万円となりました。損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が9千9百万円（前年同期は5千2百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が5千8百万円（前年同期は5千3百万円の経常損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、受取手形、売掛金及び契約資産、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加したこと等により21億1千1百万円増加し、187億1千6百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物、土地が増加したこと等により4億4千8百万円増加し、58億8千万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて25億5千9百万円増加し、245億9千6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したこと等により17億4千5百万円増加し、86億9千3百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金、退職給付に係る負債が増加したこと等により2億2千2百万円増加し、39億8千8百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて19億6千7百万円増加し、126億8千1百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金は減少しましたが、為替換算調整勘定が増加したこと等により5億9千2百万円増加し、119億1千4百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、中国のゼロコロナ政策の緩和に伴い、サプライチェーンの混乱は改善に向かうことが期待されるものの、先進各国のインフレの加速とそれに伴う各国中央銀行の相次ぐ金融引き締め、これらを反映した為替相場の乱高下等に加えて、資源価格の高騰とウクライナ情勢の長期化等、地政学的リスクも引き続き懸念され、景気の先行きは不透明感を増しております。

わが国経済も、ウイズコロナ政策のもと、経済活動の正常化に向けた回復の動きが続いているものの、原材料価格の高騰や為替相場の急激な変動等により景気下振れリスクが強まっておりますが、日本セグメントを中心に受注は引き続き堅調に推移しており、現時点におきましては、2022年10月31日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化等に積極的に技術や資源を投入するとともに、ウイズコロナの環境のもと、社会の環境変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応してまいります。また、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等に加えて新規市場や成長分野への事業展開の強化を中長期的に取り組んでまいります。世界レベルでの環境問題（脱炭素、使い捨てプラスチックの削減）に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を強化いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,764,843	6,822,831
受取手形、売掛金及び契約資産	6,495,503	7,043,660
商品及び製品	613,859	1,114,004
仕掛品	1,040,159	1,518,908
原材料及び貯蔵品	1,235,660	1,671,495
その他	495,102	613,908
貸倒引当金	△40,394	△68,731
流動資産合計	16,604,733	18,716,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,140,359	2,193,789
土地	1,567,100	1,645,989
その他(純額)	524,038	810,652
有形固定資産合計	4,231,498	4,650,431
無形固定資産		
その他	542,133	603,132
無形固定資産合計	542,133	603,132
投資その他の資産		
その他	660,073	628,781
貸倒引当金	△2,107	△2,107
投資その他の資産合計	657,966	626,674
固定資産合計	5,431,598	5,880,238
資産合計	22,036,331	24,596,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,560,399	3,005,527
短期借入金	2,200,798	2,804,836
1年内償還予定の社債	18,750	-
未払法人税等	143,219	113,694
製品保証引当金	123,035	128,036
役員賞与引当金	52,656	-
その他	1,849,456	2,641,387
流動負債合計	6,948,315	8,693,482
固定負債		
長期借入金	2,590,002	2,754,000
役員株式給付引当金	13,850	11,920
退職給付に係る負債	932,610	1,031,189
その他	229,502	191,084
固定負債合計	3,765,965	3,988,193
負債合計	10,714,280	12,681,676

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	8,713,037	8,611,807
自己株式	△133,654	△131,654
株主資本合計	10,625,917	10,526,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,487	110,613
為替換算調整勘定	389,734	1,064,011
その他の包括利益累計額合計	498,221	1,174,625
非支配株主持分	197,911	213,327
純資産合計	11,322,050	11,914,639
負債純資産合計	22,036,331	24,596,315

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	13,203,042	13,380,330
売上原価	9,455,122	9,538,568
売上総利益	3,747,919	3,841,761
販売費及び一般管理費	3,190,107	3,533,949
営業利益	557,811	307,812
営業外収益		
受取利息	6,564	7,935
受取配当金	9,555	10,280
為替差益	61,105	114,249
保険解約返戻金	11,139	17,055
助成金収入	15,021	1,241
その他	21,102	10,650
営業外収益合計	124,488	161,413
営業外費用		
支払利息	38,359	28,661
その他	19,292	13,250
営業外費用合計	57,651	41,912
経常利益	624,648	427,314
特別利益		
固定資産売却益	4,388	2,090
投資有価証券売却益	1,465	14,399
特別利益合計	5,853	16,489
特別損失		
固定資産除売却損	0	993
投資有価証券売却損	-	241
投資有価証券評価損	-	11,309
子会社清算損	8,634	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	108,508
特別損失合計	8,635	121,052
税金等調整前四半期純利益	621,866	322,751
法人税、住民税及び事業税	110,755	150,842
法人税等調整額	125,524	29,490
法人税等合計	236,279	180,332
四半期純利益	385,587	142,418
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	381,347	150,171
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,239	△7,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,065	2,125
為替換算調整勘定	251,702	697,447
その他の包括利益合計	257,768	699,573
四半期包括利益	643,355	841,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	645,640	826,575
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,285	15,416



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	7,496,362	4,291,019	1,251,892	163,767	13,203,042	—	13,203,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	423,155	404,778	15,033	3,598	846,565	△846,565	—
計	7,919,517	4,695,798	1,266,925	167,365	14,049,607	△846,565	13,203,042
セグメント利益又は 損失(△)	659,571	5,382	19,625	△53,288	631,289	△6,641	624,648

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	631,289
セグメント間取引消去	△6,641
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	624,648

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	8,239,147	3,660,371	1,377,932	102,879	13,380,330	—	13,380,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	650,342	339,432	12,815	13,235	1,015,825	△1,015,825	—
計	8,889,489	3,999,803	1,390,747	116,115	14,396,156	△1,015,825	13,380,330
セグメント利益又は 損失(△)	636,807	23,631	△1,587	△58,836	600,014	△172,699	427,314

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	600,014
セグメント間取引消去	△172,699
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	427,314

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	8,111,081	13.4
東アジア	3,548,584	△18.7
東南アジア	412,581	19.3
合計	12,072,247	1.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	11,894,799	22.5	9,013,116	82.9
東アジア	5,443,933	10.7	3,837,820	64.5
東南アジア	1,230,758	△3.3	498,022	15.9
北中米	189,675	18.9	140,910	143.0
合計	18,759,167	16.8	13,489,869	74.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	8,239,147	9.9
東アジア	3,660,371	△14.7
東南アジア	1,377,932	10.1
北中米	102,879	△37.2
合計	13,380,330	1.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。